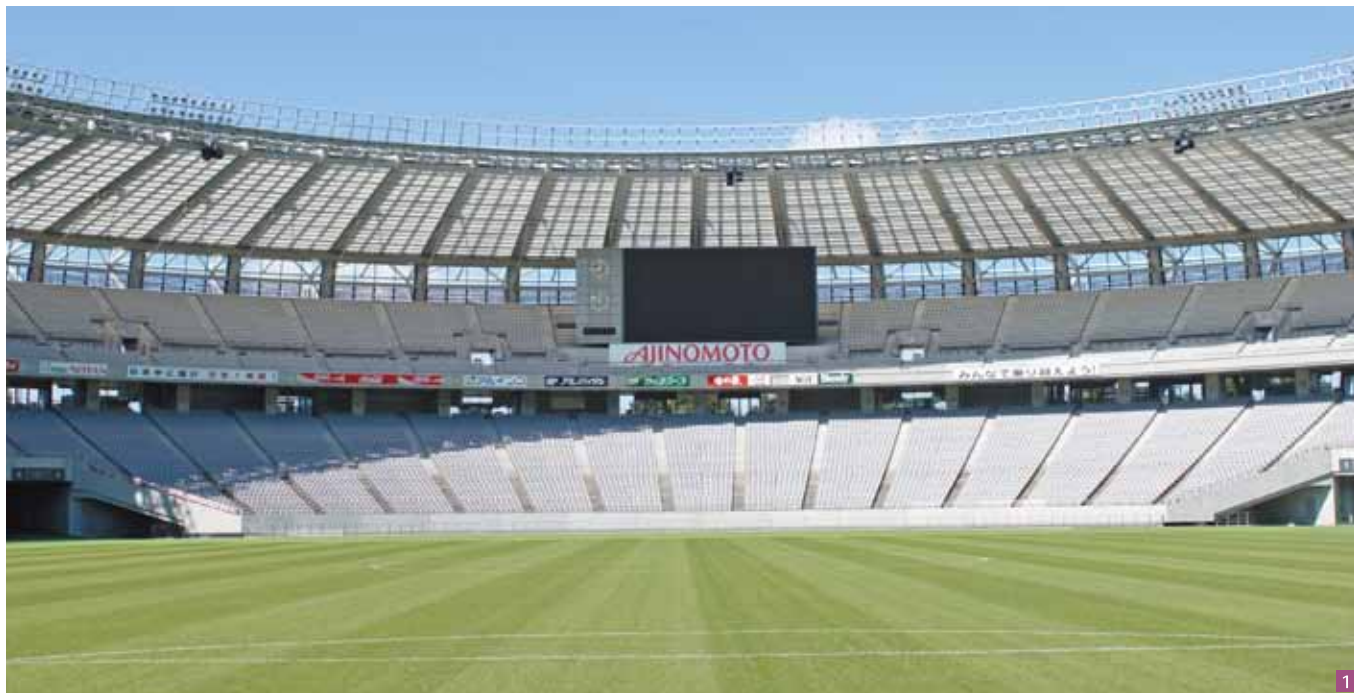


# 商工連プラザ

11  
VOL.338

商工会は 行きます 聞きます 提案します



1. 味の素スタジアム(東京スタジアム):2019年ラグビーワールドカップの会場、2020東京オリンピックではサッカー会場となる。多数の外国人観客の来訪が期待される。J1・FC東京のホームスタジアムでもある。 2. イオンシネマ シアタス調布:「映画のまち調布」にシネマコンプレックスが9月末にオープン。調布駅前再開発の核である「トリエ京王調布」のC館に入る。11スクリーン、1650席と多摩地域最大級。 3. 調布市の花火大会:30年以上の歴史があり、多摩川周辺で約9,000発の花火が打ち上げられる。今年から秋(10月)の開催となった。 4. 深大寺の節分会/豆まき式:深大寺では、毎年2月3日に厄除け、家内安全などを祈願する大護摩供が元三大師堂で行われる。また、年男、芸能人などによる豆まき式が本堂前の舞台で行われ、終日、参詣者でにぎわう。

## ▶ CONTENTS

- 2 多摩の観光振興をめざす広域ネットワーク組織がスタート  
「多摩観光推進協議会」を設立、会長に村越政雄都商工連会長が就任
- 3 都商工連が都議会各党に平成30年度予算などで要望  
小規模企業振興、観光振興、中小・小規模事業者の人材確保強化が重点
  - ・東京都功労者表彰  
山下真一都商工連副会長(福生市商工会長)が産業振興で表彰
  - ・人事交流
- 4 50人がものづくり企業に採用  
「多摩地域ものづくり人材確保支援協議会」が第3回協議会で事業報告
- 5 <連載>わが社の経営革新計画/ロケット(狛江市)
- 6 <連載>多摩おこし・島おこし/シャフト(調布市)
  - ・多摩地域商工会エリアの景況(平成29年度第2四半期)
- 7 <連載>私と商工会/green world café(稲城市)
- 8 多摩・島しょ地域のイベント(12月~1月)
  - ・江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2017
  - ・多摩の風物詩/あきる野3大祭り

## 調布市 chohu

### 発掘! 商工会地域の観光資源

調布市は、新宿副都心から約15km圏内に位置する人口約22万人の都市。中央部を東西に京王線が走り、中央自動車道と国道20号(甲州街道)も市内を東西に横断、都心とのアクセスがよく通勤にもビジネスにも便利な都市です。

1933年に多摩川撮影所(現:角川大映撮影所)が設立されて以来、映画関連事業所の集積が進み、1950~60年代には「東洋のハリウッド」と称されるほど発展。現在でも40社以上の映画関連企業が立地し、映画やテレビドラマ等の制作が盛んです。9月末には、待望のシネマコンプレックスが調布駅前にオープン、「映画のまち調布」の象徴となりそうです。また、味の素スタジアムが、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックの競技会場に決まり、インバウンド増加につながるものと期待されています。



▲多摩観光推進協議会「第1回協議会」の様相

多摩観光推進協議会は、2020東京大会を機に東京を訪れる外国人観光客や国内旅行者を多摩地域に呼び込み、

多摩地域の魅力を多摩の外にも発信

# 多摩の観光振興をめざす ネットワーキング型協議会

多摩観光推進協議会がスタート

多摩地域への誘客を促進し、観光振興や新しい観光ビジネスの創出・育成をはかるための広域ネットワーク組織「多摩観光推進協議会」の設立会議および第1回協議会が9月27日、東京・昭島市のフォレスト・イン昭和館で開かれました。設立会議では、協議会の設置要綱を審議・承認し、協議会が設立されました。同協議会は、東京都商工会連合会、多摩地域の商工会、商工会議所、農業協同組合、観光に関連する団体・企業、自治体、支援機関、金融機関などで構成されます。それぞれの事業者や関係組織と競合することなく、相互に連携して多摩全体の観光資源などを活用していきます。旅行者誘致の促進をはかり、観光ビジネスの創出・育成につなげていくネットワーク型の新しい観光振興組織がスタートしました。

リピーターの増加をはかることはもちろん、大会終了後も多摩地域の観光振興の基盤となるように事業や新プロジェクトを着実に進めます。さらに、多摩の認知度を深めることで、グローバルな企業の誘致につなげる狙いもあります。

第1回協議会の役員選任で、会長に東京都商工会連合会（以下、都商工連）の村越政雄会長が就任。副会長には、東京都農業協同組合中央会の須藤正敏会長、東京都商工会議所連合会の小澤順一郎会長（青梅商工会議所会頭）、東京都酒造組合の田村半十郎副会長（田村酒造場蔵元）の3氏が選任されました。

## 多摩の観光・産業振興ネットワーク事業プロジェクトの概要

### 1. 多摩の魅力発信マップ作成プロジェクト

- 2017年度 総合編（立体マップ・観光マップ+図鑑）
- 2018年度 エリア編（西武・JR線沿線を予定）
- 2019年度 テーマ編（多摩の「食べ物と観光」）  
エリア編（京王・小田急線沿線を予定）
- 2020年度 テーマ編（多摩の「水と観光」、多摩の「行事・伝統」を予定）
- 2021年度 テーマ編（多摩の「名所・景勝地」、多摩の「産業観光」を予定）

### 2. 古民家活用の宿泊体験モデルプロジェクト

- 2017年度 モデル事業で活用する古民家の空き家の検討・古民家の改修、運営等の事業可能性調査
- 2018年度 宿泊モニターツアー、地域と連携した生活体験の実施等による課題確認を予定

（2019年度以降は、補助制度による古民家の改修および修復した古民家宿泊等の多摩の生活等体験事業の実施を予定）

### 3. 多摩をめぐる観光ルート開発モデルプロジェクト

- 2017年度 東村山市、東大和市、武蔵村山市等の北多摩地区を対象とした観光ルートの開発・実施  
「うどん」をメインテーマに、歴史・文化・体験・回遊性イベントおよびモニターツアーの実施

（2018年度以降は、年間2本程度の観光ルート開発とモニターツアーの実施を予定）

### 4. 情報発信プロジェクト

- 2017年度 ホームページの開設。日本語版12月、英語版2018年3月15日運用開始

（2018年度以降は、ホームページの更新が主。観光ルートの紹介、マップの掲載、協議会事業の紹介、プロジェクトの紹介など）



▲多摩観光推進協議会会長就任の挨拶をする村越都商工連会長

協議会は年1回開催されます。事業計画など目的達成に必要な実務に関する事項の協議・調整を行う「幹事会」は年4回開かれます。また、幹事会の下部組織として、計画の立案・実行部隊である「プロジェクトチーム（以下、PT）」を置き、事業計画や実施内容を随時協議して実行に移していきます。なお、幹事会を主催する幹事長には都

商工連の傳田純専務理事が、PT委員長には駒治徳都商工連多摩観光推進協議会事務局局長が就きました。多摩観光推進協議会会長就任の挨拶で、村越都商工連会長は「多摩地域の観光事業はこれまで各自治体などが担ってきたが、横の連携が少なかった。それを、パッチワークでまとめ大きなじゅうたんのように面的にすることで、観光情報が個々の地域でとどまることなく多摩の外にも広がるようにしたい。行政区域を超えて連携し多摩の魅力を発信することで観光産業の創出につなげていく。2020年より先を見据えた事業であり、東京オリンピック・パラリンピックはそのための大きな契機にしたい」と抱負を述べました。



都商工連

## 都議会各党に

平成30年度

## 東京都予算などで

要望

5分野14項目

## 重点

小規模企業振興  
多摩の観光振興  
中小・小規模企業の人材確保の強化

東京都商工会連合会（都商工連）は8月から9月にかけて、東京都議会公明党、都民ファーストの会、東京都議会自由民主党を訪ね、平成30年度の東京都予算などに対して要望しました。要望は「小規模企業振興」「観光振興」「ものづくり振興」「多摩地域要望」「島しょ地域要望」の5分野14項目です。

今回の要望では、小規模企業支援のさらなる充実と、商工会等を中核とした実効性ある支援体制の強化を柱とした「小規模企業振興」、東京2020大会を契機に多摩の観光振興を推進する広域的なネットワークを構築する「多摩の観光振興」、および人手不足に対応が急がれる「中小・小規模企業の人材確保支援の強化」の3つを重点に挙げました。

村越政雄都商工連会長は、東京都への要望の基本方針を説明する中で「経営者の高齢化と後継者不足で、小規模企業の事業承継が厳しくなっている。



▲平成30年度予算などで要望の基本方針について述べる村越会長（中央）

地域の中でそうした企業をどう支援していくかが問われている。支援のさらなる充実をお願いしたい。また、東京2020大会は、観光面・ビジネス面の効果に対する小規模事業者の期待が大きい。多摩の良さと東京の魅力を体験してもらいリーダーを増やしたい。積極的な支援により多摩地域の持続的な発展につなげたい」と述べました。一方、多摩のものづくり中小・小規模企業では人材確保が大きな問題になっていることから「人材の確保・育成、従業員の定着などについて広域的に展開する取組みへもご支援をいただきたい」と要望しました。

村越会長と、鶴田和男、栗山昇、佐藤文典、山下真一の4副会長、傳田純専務理事、村野哲也事務局長らが都議会各党を訪ね、要望を伝えました。村越会長が基本方針を述べ、傳田専務理事が重点項目を中心に要望の詳細について説明しました。

平成30年度  
東京都予算など  
に対する要望

## 要望

- 一、小規模企業振興
  - ① 小規模企業のさらなる充実について
  - ② 商工会等を中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の強化について
- 二、多摩の観光振興
  - ① 多摩の観光振興を推進する広域的なネットワーク構築について
  - ② 多摩地域への観光客誘致について
- 三、ものづくり振興
  - ① ものづくり中小・小規模企業への支援の充実について
  - ② 中小・小規模企業の人材確保支援について
- 四、多摩地域要望
  - ① 多摩地域都市基盤整備等の早期実現

## 人事交流

【退職】（8月31日）▽あきる野・一般職員 高橋和也

（9月30日）▽三鷹・経指 瀬尾厚

※地域名は商工会名、経指は経営指導員

## 東京都功労者表彰

## 山下真一 都商工連副会長が

（福生市商工会長）

## 「産業振興」で表彰

2017年度の東京都功労者表彰式が10月3日、都庁で行われ、山下真一東京都商工会連合会副会長（福生市商工会長）が「産業振興」の分野で功労者として表彰されました。今年度、東京都功労者として表彰されたのは、地方自治、地域経済、社会福祉、教育など、13の分野の個人277人と25の団体です。

山下氏は都商工連副会長や福生市商工会長として地域経済の振興に尽力された功績が認められました。

小池百合子知事は式辞で「皆様は各界で都民の生活と文化の向上に情熱を傾け、多大な功績を上げられた」と感謝を伝え、「安心して暮らし、生き生きと活躍できる東京を作るために、これからも東京を牽引していただき、次の世代の若者を温かく育てて欲しい」と期待を述べました。



表彰された山下 真一氏▶

### 多摩地域ものづくり人材確保支援協議会 構成メンバー

- **東京都商工会連合会**
- **商工会**: 武蔵村山市商工会/昭島市商工会/三鷹商工会/  
小金井市商工会/福生市商工会/あきる野商工会/東大和  
市商工会/羽村市商工会/瑞穂町商工会/日の出町商工会
- **商工会議所**: 八王子商工会議所/青梅商工会議所
- **行政機関**: 八王子市/青梅市/昭島市/福生市/東大和  
市/武蔵村山市/羽村市/あきる野市
- **支援機関**: 東京都中小企業振興公社多摩支社/東京  
都立産業技術センター多摩テクノプラザ/東京都立多  
摩職業能力開発センター/中小企業大学校東京校
- **金融機関**: 青梅信用金庫/西武信用金庫/多摩信用金  
庫/日本政策金融公庫立川支店
- **ものづくり企業**: 123社

多摩地域のものづくり人材を育成し、ものづくり中小企業への就業を推進している「多摩地域ものづくり人材確保支援協議会（以下、支援協議会）」は9月20日、昭島市のフォレスト・イン昭和館で「第3回協議会」を開き、「多摩地域中小企業人材確保支援ネットワーク事業」の実績を報告しました。報告の中で、昨年の事業開始から9月までの約1年強の期間で、50人が同事業を通じて企業に採用されるとの見通しが示されました。

第3回協議会では、2016年度（2

## 第3回協議会を開催

多摩地域ものづくり人材確保支援協議会

# 50人がものづくり企業に採用

多摩地域中小企業人材確保支援ネットワーク事業で



▲「さらに事業の推進を」  
挨拶する鶴田会長

016年8月の協議会発足（2017年3月）と2017年度上半期（2017年4月～9月）の採用者数が報告されました。2016年度の採用者は10人にどまりましたが、2017年度上半期の採用者は、9月末までに40人に達することが確実となり、合計すると事業開始からの採用者は50人になります。

2017年度上半期に採用者数が増加した要因として、求職意欲が高いうちに雇用につなげていくために、基礎研修を当初の1カ月から2日間に、現場実習を2カ月間から1カ月間に短縮したこと、また、1カ所で行っていた説明会を9カ所に増やし、より参加しやすくしたことなどがあげられます。さらに支援協議会に入会しているものづくり企業が、協議会設立当初の22社



▲活発な議論が交わされた第3回協議会

から123社に増えていることも大きな要因です。半期で40人の採用が確実になったことは、今後の事業展開に弾みをつけるものといえます。

支援協議会の鶴田和男会長（東京都商工会連合会副会長、あきる野商工会長）は挨拶で「この事業はものづくり人材の育成と多摩地域の企業への就業支援の推進が目的。これまで、商工会・商工会議所は、経営改善普及事業などを中心に、主に小規模企業の経営支援を行ってきたが、結果的に中堅ものづくり企業の支援については具体的な成果を表わすことが難しかった。本事業の開始によって中堅ものづくり企業と商工会・商工会議所とのつながりがより強固になったと確信している」と述べ、同事業が、商工会・商工会議所の支援事業として非常に有意義であるとし、さらなる事業推進に意欲を示しました。

職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン 要事前予約

## ポジティブメンタルヘルス シンポジウム&相談会

期日 11月15日(水)  
13:00開場  
場所 東京・大手町 日経ホール

東京都産業労働局 参加無料

**内容**

- **シンポジウム 13:30~17:00**
- ▽ **基調講演**  
「中小企業でもできる!ポジティブメンタルヘルスの実践事例」森本秀彦氏(グリフィン執行役員)/後半は森本氏と島津明人氏(北里大学教授)とのトークセッション
- ▽ **パネルディスカッション**  
「健康でいきいきと働ける職場づくり~職場でのポジティブメンタルヘルスの進め方~」/パネリスト:島津明人氏、北居明氏(甲南大学教授)、ポジティブメンタルヘルスに取り組む都内企業2社/モデレーター:中詰めぐみ氏(特定社会保険労務士)
- **個別相談会 13:00~18:40**  
産業カウンセラーなど専門家が、メンタルヘルス対策の具体的な進め方や個別事例への対応方法について相談に応じる。

問合せ先 東京都産業労働局雇用就業部労働環境課 tel 03-5320-4652  
申込・詳細 [www.hataraku.metro.tokyo.jp/fukuri/mental/campaign.html](http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/fukuri/mental/campaign.html)

## 東京都最低賃金改正のお知らせ

平成29年10月1日から  
**時間額958円に改正されました**  
東京都で働くすべての労働者に適用されます

お問い合わせ先

- **最低賃金について⇒**  
東京労働局労働基準部賃金課 (TEL 03-3512-1614・直通)
- **業務改善助成金について⇒**  
東京労働局雇用環境・均等部企画課 (TEL 03-6893-1100)
- **最低賃金及び業務改善助成金について⇒**  
東京都最低賃金総合相談支援センター (TEL 0120-311-615)
- **キャリアアップ助成金・人事評価改善等助成金について⇒**  
事業所の所在地を管轄するハローワークまたは  
東京労働局ハローワーク助成金事務センター助成金第二係

新製品・新事業への挑戦で、さらなる飛躍を!

わが社の

# 経営革新計画

PART2  
No.7

## 今は自分たちの事業を 自信を持ってビジネスの場で 説明できる

株式会社 ロケット (狛江市)

代表取締役  
三上 孝 氏

映画やTV、音楽ライブ、スポーツイベントなどの特殊機材撮影や撮影関連機材のレンタル、オペレーターの派遣などを主業務にしている。特殊機材撮影とは、コンピューターグラフィックスなどを使った特殊撮影ではなく、特殊な機材を使い俯瞰(ふかん)的な画像や、陸上競技やサッカー選手の視線で捉えた臨場感あふれる画像を提供できるようにする撮影手法だ。

当社は2003年に創業。以来、「アジアの特殊機材撮影技術の向上」を目指してきた。ただ、特殊機材撮影は、欧米の撮影クルーが市場を独占してきた。現在でもアジアに対しては排他的で、日本で行われるイベントでも国内事業者の参入ハードルは高い。クライアント(TV局や映画会社)が撮影を依頼するには、海外から専属撮影クルーを呼ぶため、渡航費や滞在費を丸抱えすることになる。ちなみに、現在、特殊機材撮影で使用される機材の90%以上が米国・欧州製だ。

当社はロシアのMOVICOM社から大型スタジアムにも設置できる4点吊りケーブルカメラシステム「Robycam」を、2013年にアジアで初めて導入した。Robycamは、スタジアムなどの大空間にケーブルワイヤーを4本張ってその中心にTVカメラを吊り、カメラを秒速8m、位置精度100分の1mmという高速・高精度で縦横無尽に移動させることが可能なシステム。これを使い、男子サッカーのW杯予選や女子サッカーの五輪予選などのイベント中継を相次いで行った。

ただ、独自のビジネスを進めてきたものの、系統立ててまとめたことはなく、社内でも全体の動きを把握しているスタッフが少ない状況にあった。商工会さんから経営革新計画への挑戦を勧められ、専門家の目でビジネスを組み立てた時どのようなのか、はたして実現性があるのかを一度きちんと整理する必要があると思いい、挑戦することにした。

特殊機材撮影という国内では珍しい仕事で、最初は中小企業診断士の先生方も戸惑った様子だった。しかし、理解度が深まるにつれ、思いもよらないアイデアが先生方から提案され、大いに刺激になった。また、計画承認後は会社の方向性を若いスタッフに具体的に示すことができ、社員のベクトルが一致してきたように感じられた。大きいのは、自分たちがやりたいビジネスに関して、具体的に自信を持ってクライアントやビジネスパートナーに説明することができるようになったことだ。同時に中長期のビジネスプランの立案もできるようになった。

銀行の担当者に経営革新計画の内容を見せて、

将来的な展望や具体的な数字を提示することができ、融資へのアプローチがスムーズになり、良い条件で融資してもらえるようになった。

2020年には東京で五輪・パラリンピックが開かれる。当社も中継スタッフとして参加していきたい。その際にネックになるのが日本では一般的に行われている「一時敷設」。機材をその都度スタジアムに運び、終わったら搬出するやり方で、契約もレンタルになる。これを「常設」にしていきたい。常設なら、その都度設置するのに比べ、手間や費用を大幅に削減でき、イベントの予定や計画を立てやすくなる。欧米では常設がすでに主流だ。販売し所有権を移転すれば機材を資産として所有しなくてもよくなる。クライアント側と撮影側、双方でメリットがある。当社の経営革新計画は5年先を見越して策定している。東京2020大会以降、景気が冷え込んだ時こそ経営革新計画で構築したビジネスモデルが社の発展につながると考えている。



▲国際色豊かな(株)ロケットのスタッフ

〒201-0014 東京都狛江市東和泉4-5-7  
TEL: 03-3488-7345  
URL: www.rocketjapan.com





調布発の「オンリーワングッズ」で世界に笑顔と感動を

シャフト株式会社 代表取締役  
清水 健太郎 氏 (調布市商工会青年部副委員長)

この人に聞く  
**多摩おこし・島おこし**  
調布市 No.8

—オリジナルジグソーパズルの事業を始めるきっかけは？

教育系の大学院を出て県立女子大の非常勤講師をやっていた。ほかにも、ウェブサイトの制作やスマートフォンのアプリ開発などフリーの仕事も受けていた。しかし、2009年に娘が生まれ、子どもの写真を見ながら「何か面白いものが作れないか」と考えていた時に、フッと浮かんだのがジグソーパズルだった。2011年にシャフトを設立。お客様の写真を使ったオリジナルジグソーパズルの制作・販売を、7期に入る現在でも継続して行っている。

—アクリルのフレームでジグソーパズルをはさんだユニークな製品ですね。机の上や棚に置けば洒落たインテリアグッズになります。

2mmの厚さのアクリル板を3枚重ねた構造。真ん中のアクリル板にはジグソーパズルがスッポリ入るよう空間を設けている。現在、量販されているジグソーパズルは、フレームを着けると写真の周囲が隠れてしまう。当社のオリジナルジグソーパズルは写真全体が見えるし、裏に寄せ書きも書ける。自分の部屋に世界で1枚のジグソーパズルを置いて楽しむことが可能だ。結婚式の記念品や、恋人へのプレゼントとしても喜ばれている。「思い出を形にする」ことが当社のポリシー。だから1個からの受注生産になる。現在は、オリジナル時計、オリ

ジナルマグカップ、オリジナルスマホカバーなど、提供するグッズが増えている。オンリーワンのグッズのメーカーを誇りにしているし、今後もこの方針を変えることはない。

—地域の活性化にも積極的に関わられています。

2015年に調布市商工会に入会、2016年には青年部に入った。青年部に入って「何で、もっと早く入らなかったのか」と少し悔やんだ。青年部の活動は、そのまま市の公益につながっている。それに携われていることが楽しい。私は青年部活動が直接ビジネスに繋がらなくても、調布市の活性化に貢献できればいいと考えている。8月に市民プラザでジグソーパズルの早組み大会を行った。これも調布市や青年部員にサポートしてもらった。調布に根を張って世界のお客様に笑顔と感動を届けたい。

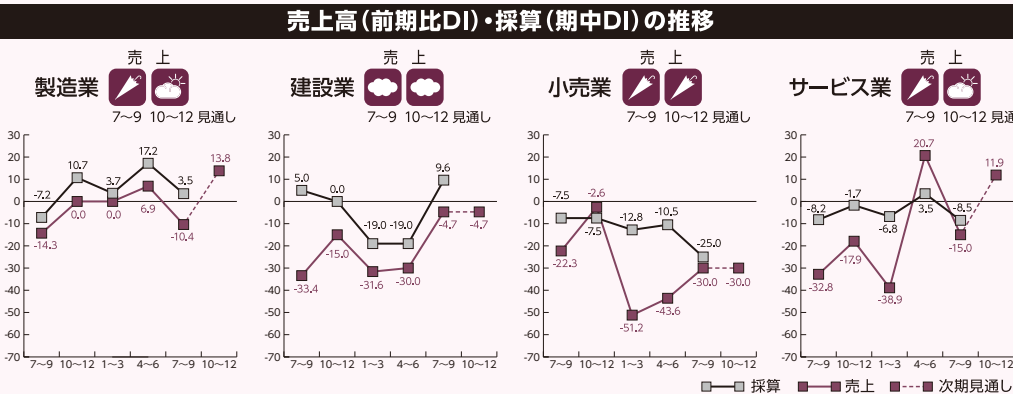
〒182-0022  
東京都調布市  
国領町4-23-4-309  
URL:www.schaft-japan.com



シャフト製の▶オリジナルパズル

中小企業景況調査 **多摩地域商工会エリアの景況** 29年度 第2・四半期 7~9月  
製造、サービスの売上高DIが低下、次期は回復を見込む

- 製造業** 売上高前期比DIと採算期中DIは低下。資金繰りDIは改善。経営上の問題点の第1位は「製品単価の低下、上昇難」に変わる。
- 小売業** 売上高前期比DIと資金繰りDIは改善。採算期中DIは悪化。経営上の問題点の第1位は「10期連続「大・中型店との競争激化」」。
- 建設業** 売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも改善。経営上の問題点の第1位は3期連続「従業員の確保難」。
- サービス業** 売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は2期連続「利用者ニーズの変化」。



調査企業の声

- \* 同業他社との競争激化で製品単価が低下している。原材料価格の上昇を単価に転嫁できない。(生産用機械・同部分品製造業)
- \* 工事の受注や見積り依頼が引き続き増えている。そのため人材不足は続いており、社員単位の増員では追いつかず、下請業者の確保に苦戦中。(防水工事業)
- \* 法改正により、6月から大型店におけるビール、甲類焼酎などの値上げが行われ、追い風が吹いたと思ったが、弊社の仕入値も上がった。予想をかなり下回る追い風しか吹かなかった。(酒小売業)
- \* 8月は天候の悪い日が多く、客足に影響した。(理容業)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。  
注2. DIマーク ※:+30~ ◐:+10~+30 ◑:+10~10 ◒:-10~30 ◓:-30~  
注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。  
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値



私

と商工会

| No.21 |

## 店を通じ 世界を緑いっぱい!

経営指導員さんのアドバイスは  
提案ではなく、  
まるで手術、のようだった。

| green world café |  
代表 花枝 聖氏

本格的に音楽がやりたくて、高校卒業と同時に静岡から東京に出てきました。アコースティックギターを叩いて演奏し、歌うのが私のスタイル。27歳の時にはテレビ番組に半年間レギュラー出演し、3,000人入るホール(ZEPP東京)でライブもやりました。一方で、作曲なども手がけていました。当時は、エコ・持続可能社会・スローライフなど自然との共生が声高に唱えられた時代。自然の魅力をPRするイベントとして屋外のライブ活動を行い、関東や関西を回りました。その活動の中で稲城を訪れました。東京都内にありながら豊かな自然に恵まれて、人が温かいところと感じていました。

30歳になって、このまま音楽活動を続けるか、郷里に戻って働くかの岐路に立ちました。普通の就職は向かないと思い、起業することを考えていました。仲間うちでは「基地」と呼んでいるんですが、例えばライブが終わった後に、みんなで集まって話し合ったりする場所を持たたら...などと漠然と思っていました。そんな時に「京王よみうりランドの駅前に空き店舗がある」と、以前、稲城でお世話になった方から連絡が来て、念願の「基地」を作ることになりました。

「音楽や自然との共生に興味をもつ人たちの溜り場・止まり木になるカフェ」をコンセプトにし、料理には無農薬や有機栽培した野菜などを使うことにしました。お店を通じて世界が緑いっぱいになればいいと願い、店名を「green world café」としました。

ただ、スタートしたはいいのですが、すぐ現実の壁にぶつかりました。手許の回転資金も少なく、さらに、有機野菜を売りにした店は周辺に数多くあり、競合店とどう差別化していくかにも悩みました。

こんな時に親身になって相談に乗ってくれたのが稲城市商工会の経営指導員さんでした。商工会には、知人に勧められ店を始めずに入会していましたが、その指導員さんはフワリと店に来て私の話を聞いてくれました。そのタイミングが絶妙で、今思えば、店が深刻な事態に陥っている時を見計らって声をかけてくれたようです。ありがたかったのが専門家の派遣支援で、会計のイロハから、メニューの構成まで直接かつ具体的に提案していただいたこと。外が暗いからといって自費でライトを買ってきてくれた中小企業診断士さんもいて、「なぜ、そこまで」と胸が熱くなりました。

私にとって経営指導員さんや専門家の皆さんの提案は、単なる提案ではなく、まるで手術、のようでした。売上が上がり、収益構造が見える化、されました。

## ■会社プロフィール

地域活性化にも積極的。カフェで使う野菜は地産地消で

シンガーソングライター兼ミュージックカフェの経営者である花枝さん。green world caféを開店して5年経つ。音楽仲間やファンなどが集う「基地」と、地球と体にやさしい無農薬野菜を使った料理を提供するカフェとして地域に定着。「まずは順調です」と笑顔で話す。経営も軌道に乗ったようだ。

一方で、稲城の地域活性化にも熱心に取り組んでいる。市内のお祭りに積極的に参加し、イベントのプロデュースも多数手掛けている。よさこいのグループなど地域の若者グループの集まりにも顔を出す。子供がお菓子をもらいながら商店街を巡り大人と一緒に楽しむ、というハロウィンの催しも行った。また、小学生に自作の絵本を読んで聞かせたり、高齢者施設を訪ねて歌を歌ったりすることもある。地域密着度は高い。稲城でも一目置かれる存在だ。

しかし、カフェの開店当初は、危機の連続だったという。そもそも無農薬野菜はコストが高い。料理が不得手なので人を雇わなければならない。準備した資金はあっという間に底をつく。現実は厳しく「どうすればいい」と自問自答する日が続いた。商工会のサポートもあり、少しずつ軌道修正しながらここまでできた。「志を立てたのだから残らなければ意味がない」。意地で乗り切った。

花枝さんには最初からこだわっていることがある。地産地消だ。店に出す料理に使う野菜はできるだけ稲城産にしている。「地域にお金が落ちるし、新鮮だ」。農家の方が「台風がくるから、今日たくさん採っておいだ。使って」と届けてくれる。モノではなく思い。それが心地よいという。

- 〒206-0812  
東京都稲城市矢野口2208  
ステーションサイドビル栗山2F
- TEL: 042-379-8042
- URL: <http://green-world-cafe.com>

居心地が良さそうな店内▶



平野 宗哲  
稲城市商工会  
経営指導員

## | 経営指導員から一言 |

若い世代の経営支援を通じ地域を活性化します

花枝さんとは開業間もない頃からの付き合い입니다。先輩指導員の親身な経営支援により開業後の危機を乗り越え、現在は私がステップアップのための支援をさせていただいています。花枝社長は向上心があり様々な事に積極的に挑戦されています。そんな姿勢を見て、ぜひ応援したいという気持ちになります。

私達の支援が単なる提案ではなく「手術、のようだ、と言って下さいます。今後も支援をしながら、私自身も勉強して、提案だけでなく、時には的確な手術(対症療法)もできる経営指導員を目指したいと思います。

## — 全国商工会経営者 — 休業補償制度

お問い合わせはお近くの商工会

または

東京海上日動火災保険

損害保険ジャパン

あいおいニッセイ同和損害保険

就業中／業務外を問わず、  
病気・ケガによる月々の所得を補償します。

保険料は一般加入より**33.5～52%**の割引です。

最長**1年間**のロング補償です。

入院中はもちろん、**自宅療養**による休業や、  
**天災が原因のケガ**による休業も  
補償いたします。



# EVENT GUIDE 12月▶1月 多摩・島しょ地域のイベント

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先
12月 9日(土)	第4回 三宅島GEOノルディックウォークツアー(三宅島)	島内一周コース	頻りに噴火を繰り返し火山博物館とも呼ばれるGEOアイランド三宅島を、ノルディックウォークで歩く絶景ウォーキング	三宅島観光協会(04994-5-1144)
9日(土)	第7回 伊豆大島マラソン(大島町)	仲の原園地がスタート・ゴール。フルマラソンは大島全島一周	フルマラソン、ハーフマラソン、10kmの3コース	伊豆大島マラソン大会実行委員会(大島町役場内:04992-2-1446)
23日(土・祝)	大学通り商店会クリスマスイベント(国立市)	国立駅前大学通りの歩道・緑地帯(JR中央線国立駅南口)	恒例のイルミネーションツリーやオブジェが2日～31日に点灯。23日は昼間にイベントを開催(ミニコンサート・国立ポイント抽選会など)	大学通り商店会事務局(国立市商業協同組合事務局内:042-572-1730)
1日(月)	初日の出ジョギング(新島村)	新島村内	十三社社からサーフィンスポットの羽伏浦海岸までジョギングし、初日の出を拝む	新島村教育委員会(04992-5-0203)
6日(土)	商業謝恩祭(神津島村)	開発総合センター体育館	豪華賞品が当たる福引抽選会	神津島村商業組合(事務局/神津島商工会:04992-8-0232)
10日(水)	新春経済講演会(羽村市)	羽村市生涯学習センターゆとろぎ 小ホール	松田公太が語る～起業・経営・政治・経済～	羽村市商工会(042-555-6211)
11日(木)	新年賀詞交歓会(昭島市)	フォレスト・イン昭和館	行政や市民団体、事業者などが一堂に会し、新年の祝賀とともに、地域の交流の場とする。	昭島市、昭島市自治会連合会、昭島市商工会(042-543-8186)
28日(日)～3月25日(日)	第63回 伊豆大島椿祭り・椿プラザ(大島町)	大島全島 メイン会場は大島公園	1月28日はオープニングで「江戸みこし」と「あんこパレード」3月25日まで盛り沢山のイベントを予定	大島観光協会(04992-2-2177)

念のため、主催者に日にち・会場などをご確認の上、お出掛け下さい。

## 多摩の風物詩

初秋のあきる野路がお祭り一色に!

あきる野  
三大  
まつり

初秋のあきる野路がお祭り一色に染まりました。9月8～9日に「二宮神社秋季例大祭」、16～17日は「正一位岩走神社例大祭」、28～30日には「阿伎留神社例大祭」と、秋のお祭りが9月中に3つの神社で開かれました。

二宮神社(二宮)の秋季例大祭では、古くから、葉根付きしょうがなど3品を神前に供えるのがしきたり。そこから「しょうがを食べると風邪をひかない」という言い伝えが生まれ、境内にもしょうが売りの店が立ち並び、いつしか「しょうが祭り」と呼ばれるようになったそうです。神輿(みこし)が石段を上る場面が見どころです。

正一位岩走神社(伊奈)は江戸寛政年間に正一位の神階を許された由緒ある神社。例大祭では、先払い鉾(ほこ)、町内神輿、神社神輿、囃子車などが一団となって町中を巡り、祭り気分を盛り上げました。宮入の時には熱気が最高潮に達しました。

阿伎留神社(五日市)の例大祭では、百貫を超える六角の神輿が武蔵五日市の町を練り歩きました。神輿が檜原街道から神社への道に入る時が最大の見せ場。阿伎留神社は、今から1090年前の「延喜式神名帳」で武蔵国多摩郡八社の筆頭に記されるという格の高い神社だそうです。



▲勇壮な百貫みこし(阿伎留神社)



▲しょうが祭りは「しょうが」がないと(二宮神社)



◀お囃子車がお祭り気分を盛り上げる(正一位岩走神社)

## 江戸・TOKYO

技とテクノの融合展 2017

幅広い業種の中小企業270社と  
13の支援機関・団体が出展

東京信用保証協会が主催し、東京都や東京都商工会連合会(都商工連)が後援する「江戸・東京 技とテクノの融合展」が9月28日、東京・丸の内東京国際フォーラムで開かれました。

同展示会は、中小企業同士のビジネス交流、取引先や提携先の開拓、新技術・新製品のPRなど、情報収集の場を提供するビジネスフェア。幅広い業種の魅力ある中小企業268社と13の支援機関・団体が出展しました。都商工連も支援機関エリアに出展し、中小企業支援事業などをPRしました。

会場には出展企業がプレゼンできるスペースが設けられ、にぎわいをみせていました。また、予約フリーの商談コーナーは、急な相談にも対応できると好評でした。繊細な手仕事で作られた工芸品を展示する伝統工芸品特設展示コーナーも来場者の注目を集めていました。

開場に先立って行われた開会式では、村山寛司東京信用保証協会理事長をはじめ、来賓の藤田裕司東京都産業労働局長、村越政雄都商工連会長らがテープカットを行いました。



◀ものづくりは加工から。金属機械エリア